

みんなの力で大成功！ 東京ファーマーズマーケット 2005

ハイライト:

- ・東京ファーマーズマーケット 大勢の皆さんが会いに来て下さって感激しました。
- ・ハーベストパーティー 依田君・安田さんおめでとう！
- ・スクラップブック 旧暦は、農的生活にぴったり
- ・「サンクスパーティー」 12 月 13 日新宿に集まれ！！

目次:

T F M アルバム	2
ハーベストパーティー	4
サマー交流 in 真鶴	6
サンクスパーティー案内	7
スクラップブック	8
FIA メモ	10
イベント案内	11

東京ファーマーズマーケット 2005 に参加して 平井 貞夫 米 2・2 回生

11 月 1～6 日、東京銀座三越で開催された「東京ファーマーズマーケット 2005」に、5 名の OB が出展しました。東京 FIA の本間 惇 会長・事務局の村田正 OB の公私にわたるご支援のお陰で、無事初めての出展を終えられた事を感謝しています。

元々販売が目的で開催された催しではありませんでしたが、予想以上に売れなくて驚きました。しかしながら参加し応援してくれた大勢の OB 仲間との交流や、お客様として来店して頂いた OB の方々。個人的には高校卒業以来 45 年ぶりに再会した親友や、大学の同級生、クラブの後輩、教え子など、いずれも年賀状だけのつきあいで 30 年以上会っていなかった人達を初め、大勢の皆さんが会いに来て下さって感激しました。

銀座三越での模様をホームページに掲載しましたが、お訪ね頂いた OB の方々の写真は遠慮して掲載しておりません。本心は載せたいのですが、やたら個人情報保護だとか言われておりますので。

同じように出展しておられた方々とも毎日の様に話をし、非常に親しくなって研修生制度の説明をさせて頂きました。中には従業員をドイツに行かせたいと言われた養豚場の社長もおられます。この方面でも大きな成果があったと自負しています。

この催しに参加するため、村田君と何度もメールでやりとりし添付したようなマークを作りました。トレーナーと帽子を作ってこのマークを付けたのですが、このマークをこのファーマーズマーケットだけでなく、皆さんが日常出荷される農産物に付けて頂ければ、何年かして日本中でこのマークの付いた農産物が出回る事と思います。

「このマーク良く分らんが、何かどれをとっても旨いで」「何でもこれは若い頃、アメリカやヨーロッパに農業研修に行った人達のグループらしいで」。こんな噂が日本中で聞かれる日を、実は私は何十年も前から待望していました。是非プリントしてお使い下さい。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞
平井肥料店 / 平井農産 平井貞夫
米 2・2 回生 野菜 SASAKI FARM
滋賀県高島市安曇川町
<http://www10.ocn.ne.jp/~fshirai/>
∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞



* この文章はメーリングリスト「OB 情報」にご本人が投稿されたものを転載いたしました。



11 月 1 日～6 日まで、農林水産業から日本を元気にする会が主催する「東京ファーマーズマーケット 2005」が開催されました。東京 F I A ではイベントの趣旨に賛同し全国から厳選された 5 件の OB とともに、期間中海外農業研修生派遣事業および会員による東京の農業の P R 活動を展開しました。

東京ファーマーズマーケット2005 アルバム



坂元兄は展示責任者です



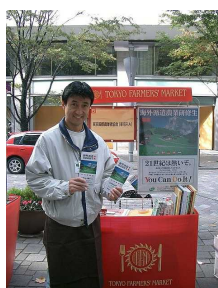
足達兄も平日に頑張ってくれました



協会職員川崎さん、石山兄、上田OG



川崎さん、パンフレット配布中



講習準備中の吉川兄もお手伝い



協会職員根崎さん、千葉県からは藤代兄



依田兄・安田OGは二人揃って



道行く人に説明中



駆けつけたOBと記念撮影



東京でも農業やってますよ！



販売の合間を縫って平井兄



おしゃれな感じのブース

会場:丸の内仲通・銀座三越 平成17年11月1日～6日



オープニングセレモニー



平井兄(滋賀県)と岩井兄



小牧姉弟は鹿児島県から



大人気のパプリカは安福兄(兵庫)



早藤兄(神奈川県)、自慢の有機農作物



本間会長も駆けつけました



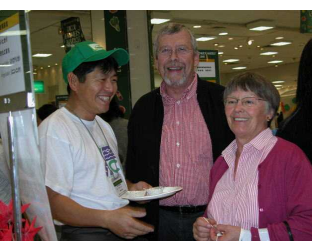
テレビ取材を受ける安福兄



講演中の本間会長



日向OG(左)も試飲のお手伝い



岩井兄はドイツ語で説明



料理の鉄人坂井シェフも太鼓判!!



皆さんお疲れ様でした

ご協力いただいた方々と運営スタッフ

(敬称略)

販売ブース出展 O B ・ O G		講演者	他県からの応援
平井貞夫	滋賀県（米）	本間 惇 東京 F I A 会長 石山希 （社）国際農業者交流協会	藤代・千葉県、栗田・広島県、 村山・岩手県、日菱喜・三重県、 平林・神奈川県
早藤義則	神奈川県（果樹）		
岩井真二	秋田県（米）	スタッフ・東京 F I A	（社）国際農業者交流協会
安福元章	兵庫県（野菜）		
小牧美樹	鹿児島県（お茶）	坂元・吉川・滝田・金子・足達 早川・石坂・安田・依田・上田 日向	川崎、青木
小牧晋哉	〃		
小牧誠悟	〃		
小牧梨奈	〃		
寄付金をいただいた方々		本間 惇・伊藤一男・堀内久貴・藤代肇・村山真砂子	



10月29日(土)神奈川県藤野芸術の森で東京FIA恒例のハーベストパーティーが開催されました。今回は、当会副会長安田弥生さんと依田賢吾君の結婚披露宴とジョイントして開催いたしました。FIA会員のほかにたくさんの出席者が集い、ふたりの門出を祝福しました。

パーティーは午後1時から夜7時まで楽しい宴が続き、FIA恒例ビンゴ大会では石坂ファームの特製「祝リング」が景品として配られ出席者に大変喜ばれました。ハロウィンの仮装大会、日向OGの本場じこみのヨーデルなどたいそう盛り上がりました。パーティー終了後は宿泊棟に移動し、夜が更けるまでよもやま話に花が咲きました。

「依田君・安田さん ご結婚おめでとうございます。 未永くお幸せに素敵な家庭を築いてください!」

ハーベストパーティー2005 アルバム



飾りつけも終わりました



軽トラだって働きます



さあ、準備はいいかな



ハロウィーンも忘れずに



神父さんも仮装です



なんだって手造りです



軽トラ2号でご登場



幸せそうな二人です



タイガーマスクに町人ですか



看パンです

会場: 藤野芸術の森 平成 17 年 10 月 29 日 ~ 30 日



超大皿パエリア！



いただきちゃってます！



子牛（モモコ）は美味しかった



出会いのエピソードを披露する早藤兄



O B関係者ご一同です



新郎新婦はこちらです



仮装はまかせてね！



子供はみんな仲良しです



香川さん自筆の絵をプレゼント



お開きで～す



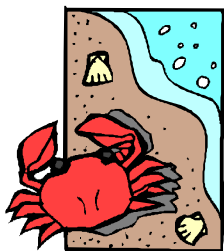
翌朝、家族のひとこま



札幌から水橋兄（右）も参加

サマー交流 in 真鶴 アルバム

8月27日(土)神奈川県真鶴海岸で地元の小松兄、早藤兄、二挺木兄にお世話になって「サマー交流会」を開催しました。当日は絵に描いたような晴天に恵まれ、早速海水浴をする人、海の幸をたらふくほうばる人、懐かしい友人と飲み語る人と、それぞれの夏を満喫しました。途中、早藤果樹園でのブルーベリー狩りもあり自然を満喫した一日でした。初めて参加したOGから「来年もぜひ参加したい」と気の早いご意見をいただきました。今回参加できなかった皆さんも次回はぜひご参加下さい。



小松さん、お世話になります



いきなり伊勢エビですか



イカす男、吉川です



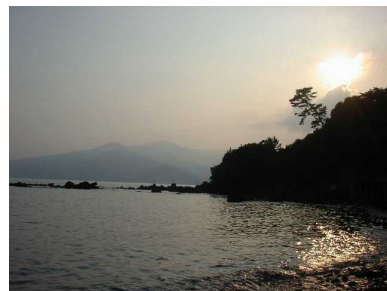
バーベキュー準備中



海だけに、清水一家でござんす



カニ捕まえました



夕日が泣いてるぜ



早藤果樹園から海を望む



ブルーベリー食べ放題ツアー中



ブルーベリー畑で記念撮影

今年も一年、ご苦労様でした！

サクスパーティーのご案内



早いもので今年も残すところあと一ヶ月あまり。

例年になくイベントの多い年でした。一年間無事に過ごせた感謝を込めて「サンク
スパーティー」をご案内いたします。みなさま、お誘いあわせの上ご参加下さい！

日時：12月13日（火）夜7時 開始

会場：タイ国料理「バンタイ」

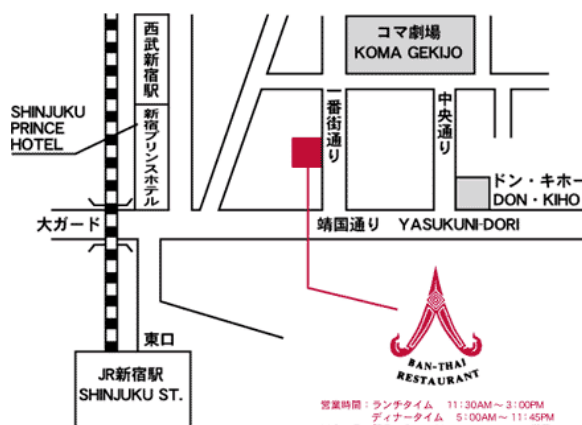
新宿区歌舞伎町1-23-14 第一メトロビル3F

TEL:03 -3207 -0068

会費：4千円

申込締切：12月9日（金）

地图



アクセス： JR新宿駅 東口 徒歩3分 西武新宿駅 徒歩1分



サンクスパーティーに

お名前

連絡先



参加



不参加



男性

女性

 $\wedge$ $\wedge$

担当：足達

e-mail adachi@jaec.org

TEL : 03 - 5703 - 0254

FAX : 03 - 5703 - 0255

東京都大田区蒲田5-39-2-6F (社) 国際農業者交流協会内

**12月9日までに
お申込下さい**



第34号



スクラップブック

本間 惇 FIA会長

コンパス 日本農業新聞 2005/10/26

瓢箪（ひょうたん）から駒で大儲（もう）けをした話は、まれに聞くが、やみくもに太平洋に投網を仕掛けても成果は期待できないし、万能の肥料や農薬があるわけがないことを知りながら、権威ありそうな先生の推薦や効能書きに踊らされて使ってみたくなるのが人情だ。

ごまかし回収や「核家族化が進む高層マンションでの調査が想像以上のご苦労ですっかり話題になった国勢調査だが、一番の目取は人々の動態調査である。

人の口の数や嗜好（しこう）調査に始まり、人々の生活の実態を明らかにする調査・統計が情報化時代らしく必要以上に氾濫（はんらん）しているが、この結果をつがさに分析し、先を見越した狙い目をチャンスに生かす農業経営者こそ、勝者になり笑うことができる。

おおがかりな調査となる次の5年後の前には日本の総人口はピークに達し、以降は人口とともに大半の物が減少への道をたどるが、高齢者人口だけが膨張し、中でも「老人農業」が日本を象徴してしまった時では手遅れで、手の施しようがない。

21世紀の日本農業のあるべき姿を踏まえた農政の抜本的な改革に加え、民間の知恵と力を引き出す環境を整えたならば、若者も農業に魅力を感じ、振り返ってくれることは請け合いだ。

少子高齢化が日本社会のあらゆる分野で定着してしまった事実を嘆くのではなく、中堅で頑張ってくれる人や、少しでも農に興味を示す担い手や法人に、今ある農業を無条件で委譲し託してみるくらいの挑戦が必要である。

生活を一変させた携帯電話を身体の一部のように使いこなし、情報技術（IT）時代を生きる若者は、われわれには難解な物でもコンピューターで高齢者の行動特性から口にする物までをいとも簡単に分析し、食べられる農業への展望を地域の未来図に描きだしてくれるはずだ。

そして、われわれの数値 至上主義でない経験と知恵を、そこにちょっぴりでも生かされたらこの上ない至福でしょう。

「家計消費調査によると食料支出に占める外食と調理済み品の割合は33%に上がる一方、生鮮野菜と果物の合計は、わずか11%で、過去10年の支出額でもそれぞれ10%も落としている」。さて、こんな記事を皆さんはどう読み取り生かすだろうか。

ベトナム、ミャンマー、インドネシア、タイ、中国

滞米中の研修生からの手紙 村田 喜重 米2年39回生 現在米国研修中

2005/08/01

どうも、お久しぶりです。グループMMの村田です。

僕が出発してから早や一年と一ヶ月が過ぎてしまいました。本当に時が過ぎるのは早いもので、そちらに手紙を出すのにはかなり時期はずれになってしまい、もうしわけございません。

僕のこれまでの一年間は本当に新しい発見の連続でした。これは何も、アメリカという異文化の中に生活の場を移した、ということだけでなく、集団生活という、僕が今までに一度も経験したことのない生活スタイルにも深く起因していると思います。

始めの、一次学科と二次学科、僕は集団の中にとると、どうも大勢に併せるといことに違和感を覚え、きっとリーダー達にとって好ましいタイプの人間ではなかったと思います。そして僕もまたそんな人達に好かれようとしてまで自分のスタイルや価値観を変えるはどうか？と思いある程度かたくなであったと思います。

しかし、今の配属先のサカタへ来てから少し考え方も変わり始めています。というのも、今は4人で暮らしていますが、LLの人間

がいたときに僕は嫌いな「大勢」の中に自分の価値観を置いていましたし、今も、4人暮らしとなっても、だらしくされると悩み、頭にきます。そしてここサカタはおそらく、他の農場に比べ自由な時間が多いはずで、自分で自分の時間を管理しないと研修そのものの成功、達成感はないと僕は考えています。

そう思い自分を管理していくと自然と学科研修中のような規則に近づいてきました。まあ、だからといって、始めから「これはすばらしい、この規則を守れ」といわれても、また反発してしまいそうでそうですが・・・でも、これは僕らの世代が「個人の尊重を大事に」そうテレビや周りからいわれてきたからではないかと思っています。とにかくにも、アメリカで生活していると僕の中にある「日本」というものが大変クリアにみえてきます。

村田喜重君のプロフィール 北海道出身 2003年 東京農大卒
短期：K&D Kiyokawa Orchards, Inc. 長期：Sakata Seed America, Inc. (Salinas)

O Bの新聞記事を集めました

安田 弥生 FIA副会長

ルンルン通信

農村報知新聞 2005/10/18

今年から、歳時記カレンダーを使うようになった。旧暦や月齢もあれば、一年を二十四に分けて、季節の移り変わりを感じとれる暦や、もっと細かく季節を分けた七十二候も書かれている。昔の人達は、その暦で種蒔きや刈り入れを知る為の暦としていたという事を、この歳になるまで知らずにいた。

カレンダーには、春＝セリが茂る頃だとか、ミミズが地表近くに出て来る頃、夏＝ひぐらしが鳴き始める頃、夕立がある頃など、見ていると、なるはどなと感じる事が多々ある。

たとえば、十月には、ガンが北国からやって来る頃、またコオロギが姿を消す頃、などが、日付の横に書き加えられている。先人達の永い観察から生まれたことが実感できる。

なぜこのカレンダーを使い始めたかという、府中にあるオーガニックレストラン「カフェスロー」で行われているイベント「農と旧暦」の夜の宴に参加させてもらったことがきっかけだった。年に四回のこのイベントを主催されているOTTO（オト）さんに、以前あるTVの取材でレポーターとして風の畑を取り上げてもらったことがそもそもの発端と言えるのかな。

私にとっては、農業の外の世界で、しかも自分の思想に近い活動をしている方達に出会えたことが嬉しく、音楽家でも芸術家でも、同じ思いを温めながら生きてゆくことが、実感できる出会いだった。それが、環境問題や平和問題まで続いてゆける関係を築けたりするからおもしろいなぁと思う。

さて、旧暦のイベントなのだから、少しは勉強しなきゃと思い、本を聞くと、アレ数分で寝てしまった。再チャレンジと試みてもまたもや睡魔が…。これは無理だと断念した。

けれど意外にも、今まで不思議だなと思っていたことが、実は旧暦につながっていたりする。それは身近にあった。

私の両親は花屋を二十年ほど営んでいて、今や一年中バラでもユリでも店にあるのが当たり前。ただ三月三日の雛祭りには、桃の花がお店に並ぶ。けれどどうだろう。自然界を見回してみても、桃の木をつぼみは囲いまま、四月まで開く気配を感じさせていない。

そう、桜の後にやっとほころび始めるのが桃の花。旧暦の雛祭りは、現在の四月十月頃が本来の季節だったことに気づいた。考え方を変えると無理に旧暦を今の暦に変えて、花の季節まで、ビニールハウスで暖房し早めに春を感じさせているのだった。

バラなどは年中並んでいても不思議に思わなくなっているのは無理もなかったけれど、一年に一度だけ使われるお節句の桃で気がついた。だからといって生活を急に旧暦に変えることはできないけれど、少しずつ私の身の周りで、密やかなブームになりつつある。自分の性格上あまり専門的な勉強は難しいけれど、色々な思想やこだわりを見聞きし、自分に合う物を見つけたり、チャレンジしたり、農業っておもしろいな！と可能性が広がるように思えてしかたないのである。



好評連載中！！

農業報知新聞 ルンルン通信 from 風の畑

<http://www.nouson-houchi.com/column/runrun/>

旧暦は、

農的生活にぴったり



そういえば

桃の花って・・・



作業中もわきあいあい



雨の中みんなで稲刈り



日本農業実践学園
<http://www.nnjg04.com/>

F I A メモ

本年度推薦者

本年度も多数の優秀な研修生を推薦しました。（敬称略）

安部 泰子 米1（造園）
長谷川 隼一 米2（養豚）・鈴木 寛 米2（野菜）
狩野 誠吾 米2（野菜）・熊倉 良介 米2（肉牛）
佐藤 亮平 米2（野菜）・井川 源 米2（野菜）
伊藤 志織 スイス（複合）・目澤 加奈 スイス（複合）
塚原 幸恵 ハワイ（野菜）

米国2年制 第一次講習が実施されます

2年制講習が11月26日（土）～12月10日（土）まで、茨城県水戸市内原町の「日本農業実践学園」と「農業技術研修館」で行われます。期間中OB・OGにもご参加いただき、後輩たちへ激励をいただければ幸いです。

- ・11/26～12/05 日本農業実践学園
茨城県水戸市内原町1496
- ・12/06～12/10 農業技術研修館
茨城県水戸市鯉淵町5930-1

講習所長：椎橋美孝（米2/S63/24回生）
講習助手：安福元章（米1/H10）
萩谷浩司（米2/H12/36回生）
松本紗名（スイス/H15）

* 詳細は派遣業務課（TEL:03-5703-0252）へお問合せ下さい。
参加ご希望の場合は、お手数ですが事前にご連絡をお願いいたします。

壮行会のご案内

今年度東京FIAで推薦した研修生の壮行会を下記の通り予定しております。

期日：2006年2月12日（日）
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

詳細は次号でご案内いたします。

畜産経営衛生向上国際シンポジウムinひょうご

「世界一の乳製品輸出国ニュージーランドの衛生管理に学ぶ」

●と き:平成18年1月20日(金)

13:00開会(12:00受付)

●ところ:新神戸オリエンタルホテル10階「真珠の間」

(兵庫県神戸市中央区北野町 Tel078-291-1121)

プログラム

●講演(同時通訳)

「畜産物の安全・安心管理システム構築に向けて」～我が牧場における衛生管理システム～(仮題)

講師:チャーリー・ペダーセン 氏

ニュージーランド農民連盟会長、酪農家

ニュージーランドにおける乳製品の安全保証システムについて(仮題)

講師:ドナルド・ニコルソン 氏

ニュージーランド農民連盟副会長、元複合農業・獣医薬諮問委員会委員、畜産農家

●フロアーディスカッション

コーディネーター:函城 悦司 氏

兵庫県立農林水産技術総合センター 淡路農業技術センター所長

●総括講演

「日本の畜産業を取り巻く世界情勢」(仮題)

講師:塩飽 二郎 氏

社団法人国際農業者交流協会理事長



参加費

- | | |
|--------------|--------|
| (1)シンポジウム参加費 | 無料 |
| (2)レセプション参加費 | 6,000円 |

主催:(社)国際農業者交流協会・兵庫県国際農業者交流協会



参加ご希望の方は、ご連絡下さい。東京FIAより経費補助があります。

担当:足達

e-mail adachi@jaec.org

TEL:03-5703-0254

FAX:03-5703-0255

東京都大田区蒲田5-39-2-6F(社)国際農業者交流協会内